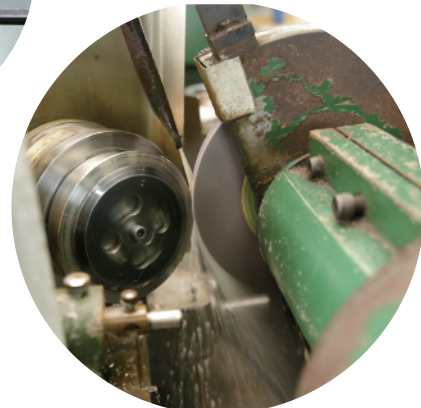


同社が製作販売する、断裁機械の刃部分。切れ味を高めるために、最後は手仕事で刃先を仕上げます。製造業の精密化、先鋭化に対応するため、昨年度、今年度と続けて新しい機械を導入。



回転しながら切断する円盤型の刃。機械メーカーとの取り引きもあり、新しい断裁機器を開発する際に意見を求められることがあるほど、信頼が厚い企業です。

## 三有研器株式会社

■工業用刃物・砥石・ダイヤ・超硬部品の卸売販売、工業用刃物の製作・研磨修理・精密部品の研磨加工

### 日本のものづくりの一翼を担う 中四国トップクラスの高精度な切断。

#### 美しい切り口が品質を支える。

紙、不織布、フィルムなどの製造企業を顧客に持ち、製品を切断する機械の刃部品の製作、卸売・販売と、刃の研磨サービスを行う会社です。多彩な技術を持つ協力を会社を持ち、小回りの利く対応ができることで、厚い信頼を得て来ました。西讃と東予に顧客が多いため、高松本社に加え、観音寺に営業所兼刃物サービスセンターがあります。

取引企業からも分かるように、同社が得意とするのは「柔らかくて薄いもの」の切断。中四国トップクラスの技術力で、品質の向上に直結する美しく繊細な切り口を生み出す刃を製造します。優れた研磨技術でさまざまな形状の刃先を試験し、機械附属の刃物より切れる刃や、より使いやすい刃の製作も可能です。

2年前に4代目社長となり、東南アジアを中心に同社の技術を提供しつつ協力を会社提携を行う海外事業に取り組み始めました。またワークライフバランスを尊重しながら、社員

各々がやりがいを持って仕事に取り組める社風づくりにも注力しています。

確かな技術力を核に、未来に繋がる経営や人材育成を行っています。



円盤型の刃の研磨作業中。より正確な切断ができる刃づくりのため、最後にプロの手仕事で仕上げられます。



4人の営業担当者も、製造担当と同程度の商品知識を身に付けるため、定期的なOJT実施を心がけています。

この春に中途入社しました。面接で「今年はや元の祭りの総代を務めるので、秋に一週間休みたい」と伝えると理解してもらえ、こちらが驚きました(笑)。品質を意識した仕事にやりがいを感じています。今は先輩に頼ることも多いですが、早く一人前になりたいです。

仕事でキラリ!



製造部  
藤井 康太さん



#### ものづくりを盛り上げたい。

「技術を繋ぎ、ものづくりを支える」が理念。社内外問わずさまざまな方と協力しながら業務に取り組んでおり、地域の小さな製造会社をまとめ盛り上げられるような、推進力のある企業を目指します。ものづくりに興味があり、変化を楽しめる人には面白い会社だと思います。

代表取締役 有岡 康介

#### Company Profile

本社：香川県高松市多賀町3-5-2 設立■1954年7月  
☎ 087-861-4466 資本金■1,000万円(2017年7月現在)  
☎ 087-861-4465 従業員数■10名(2017年7月現在)  
<http://sanyukenki.com/>